



9月の園だより

令和5年9月1日

目黒区立目黒本町保育園園長

暑い日が続きますが時折吹く爽やかな風が秋の訪れを感じます。今年は天気の良い日が続き水遊びやプールをたくさん行うことが出来ました。子どもたちは水の冷たさを五感で感じながら水の不思議に驚いたり、自分のチャレンジが成功したときの喜びを味わったりと様々な経験をして心も体も逞しくなったように感じます。

先日、近隣の保育園の年長児がヒーローバスでプールにやってきました。緊張した表情の友達に保育室から顔を出した年長児クラスの子が「らいおん組のいかだ使っていいよ」と大きな声で叫び、自分たちで作ったペットボトルいかだを得意げになって貸してあげています。保育士が「遊んでみる」と声をかけると表情が和らいで目を輝かせています。その様子を見た年長児クラスの子どもたちもとても嬉しそうに誇らしげでした。いつもと違う広いプールに入り、いかだ体験ができた子どもたちは「帰りたくない」というほど満足して自分の保育園に帰って行きました。目黒の子どもたちが同じ経験をしながら楽しさを共有し、一緒に成長していくことを見守っていけるように近隣保育園との関わりを深めていきたいと思えます。



<行事予定>

総合防災訓練(引き渡し訓練)

お月見会 (5歳児)

運動会総練習 (2・3・4・5歳児)

中旬 身体計測・避難訓練



りす組(1歳児) 【バスに乗って】

長いベンチをバスに見立て、子どもたちと一緒に体を揺らしながら乗っていると、「あっ」と思いだしたように一人の子がバスから降りていきました。棚からバッグと帽子を取って身に付け戻ってくると「いってきまーす」と友達と保育士に手を振っています。買い物へ行くイメージのようで「一緒にお買い物いこう」と声を掛けると「いいよ」と頷いて隣に入れてくれます。近くで見ていた子も同じようにバッグと帽子を持ってきて嬉しそうに横に座ったので、「一緒にいこうか」と声をかけるとにっこり頷いて嬉しそうにしていました。保育士が、お客さんと運転手役を兼ね「次は、むさしこやまでーす」と言うと、聞きなれた言葉に表情が変わります。手提げの中から、いろは積み木を出し「ピッ」と押し当てて交通ICカードのようになしたり「ピンポン」と壁を押して停車ボタンを押す真似をしたりしています。「おりまーす」とバスから降りると皆でままごとコーナーへ向かいます。思い思いにいろいろな玩具をバックに詰め、買い物を楽しみ、友達と顔を見合わせながら笑顔でバスに戻って行きました。

週末の出来事や日常生活を再現し遊ぶことを楽しんでいます。保育士も一緒に遊びながら子どもたち一人ひとりのイメージをくみ取り友達といることが楽しい、友達と同じが嬉しいという気持ちを感じられるようにしていきます。



3・4・5 歳児クラスのプール遊びの様子



こぐま組(3 歳児クラス)

初めてのプールで、膝の高さの水に「ひゃー」と声を上げながら肩をすくめたり、そっとしゃがんで入ったりしていた子どもたちも、回数を重ねるごとにプール遊びに少しずつ慣れてきました。

魚や貝、丸やダイヤ型の玩具を用意しプールに沈めて、保育士が「お宝あるかな」と言うと「宝、どこどこ」と子どもたちが目を輝かせて水の中を覗いています。「よいスタート」の声かけに水面ぎりぎりまで顔を近づけプールの底まで手を伸ばしてお宝を掴み始めました。掴み取って見てみると「あれ、これじゃなくて」と掴んだ玩具を手放す子がいました。もう一度水の中を覗き「あった、あれだ」と何度も手を入れますが水面が揺れなかなか掴めません。それでも目当ての宝を手にしようと、目を凝らしながら手を伸ばし掴むと「あった、これだ」と嬉しそうに見せてくれました。なかには両手で持ちきれないほど集めて興奮しながら「いっぱい見つけた」と教えてくれる子もいます。繰り返し宝探しを楽しむ中で顔に水やしぶきがついても平気になり水に対しての抵抗も感じないくらいプールが大好きになっていました。プールをあがる時には「もっと遊びたい」と声が聞こえるほど、この夏のプール遊びを楽しみました。



ぞう組(4 歳児クラス)

顔に水がかかるとが苦手だった子も、保育士の背中に乗って一緒に泳ぐことや保育士との水かけ大会を繰り返し楽しんだことで、すっかり水しぶきがかかることにも慣れ笑顔でプール遊びを楽しんでいます。

プールの端から端まで泳いでみる時には「これみて。ラッコみたいだよ」と仰向けになって足をパタパタと動かしたり、「顔つけられるんだよ」とワニ泳ぎで水に顔をつけたり、それぞれ好きな泳ぎ方で進みます。友達の姿をみて「ラッコさん私もやってみる」、「水に顔つけられるのすごいね、僕もワニ泳ぎやりたい」と真似してみる姿も増えてきました。ワニ泳ぎをやりたけれど、どうしようと迷った様子で立っている子がいたので、保育士が「んーの口で行くと口に入らないよ」とアドバイスしてその場でやって見せると、きりっと真剣な表情に変わり口を閉じて泳ぎ始めました。顔を上げ保育士を見ると「ねえ先生みて、できた」と、とても嬉しそうな表情で「もう一回やってみる」と見せてくれました。友達と一緒にプール遊びを思いきり楽しみ、出来るようになった満足感や自信が持てたひと夏になりました。



らいおん組(5 歳児クラス)

水に潜ったり、けのびができるようになったり、保育士と水中じゃんけんができるようになったり、色々なことに挑戦しながら思う存分プール遊びを楽しんでいます。ある日「繋がって泳いでみたら」の保育士の眩きにけのびをする子に「ねえ足持っていていい」と友達の足につかまり、繋がってけのびをしたり、保育士と手を繋いだまゝで「つながり泳ぎだ」「手つなぎ泳ぎ、おもしろいね」「一緒にやろうよ」と隣の友達を誘ってやってきました。友達で誘い合い遊んでいる中に「怖いからやらない」という子がいたので、保育士が「大好きなワニ泳ぎなら一緒にできそうかな」と聞くと「ワニ泳ぎでもいいの」と表情が変わりました。そっと「友達にも聞いてみたら」と伝えると、自分から「水に顔をつけるのは怖いから、ワニ泳ぎでもいい」と聞きに行き、友達も「うん、それもいいね」と手を差し出してくれたので、とても嬉しそうにして二人で顔を見合わせ「せーの」と一緒に手をつないで泳ぎだしていました。保育園での最後のプールは友達とお互いの頑張ろうとする姿を認めたり、励ましたりする様子が沢山見られました。

